



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2023年05月22日 第1118号「週刊五十嵐レポート」

## リスキリングとは

5月12日付日経新聞の「私見卓見」は、「リスキリングを無駄にするな」。

リスキリングとは、社会や市場の変化に適応するために必要なスキルを習得すること。実務における成果を目的とするもの。

知識が学べたことで満足し、または資格の取得で満足し、実務の成果を求めないまま、新たなリスキリングに臨もうとする。これを繰り返すと、

「学習放置→忘却→新たな学習→放置→忘却→新たな学習……」の循環に陥り、実務での成果にはつながらない。

実務の成果につなげるには、

「学習→実務→成功体験→習慣化」のプロセスをたどることが重要。座学によって得られる「学習知」は体験から得られる「体験知」を伴うと腹に落ちる。腹落ちすると継続的に実践する動機が高まり、継続により知識が習慣化し、実務の成果につながる。リスキリングは、知識に体験を伴わせることがカギ。

学習の目的を知識の習得ではなく、「実践による成功体験の獲得」とし、実践の仕方まで学ぶ必要がある。知識や資格の習得は手段にすぎず、目的はあくまでも実務における成果である。

小さな会社の社長は、今まで無手勝流でやってきて、上手いかなくなり、会社の業績を良くしたいために経営を学ぶことが多々ある。今までのやり方を悔い改め、素直に学び、実践し始め、1年過ぎから徐々に良い成果が出始める。確かに成果が出始めると、本人は継続して学び、更に業績を良くしようと熱意、向上心が芽生えてきてくる。

まずは社長が学び、実践し、成功を体験し、習慣化していく。次に幹部社員向けに社長がインストラクターになって、勉強会を継続的に開催する。小さな会社でこのようなことをしている所は少ない。社員に対して、「学習→実務→成功体験→習慣化」させていくと、強い会社になり、本当の「差別化」につながっていく。幹部社員勉強会を1年継続している社長は、「地域戦略の意図が良くわかってきて、社員からあの地域は遠いからカットしよう」という意見が出た。共通言語が生まれてきた」と一体感が始めたと喜んでた。

ちょっと  
気になる出来事

5月13日付朝日新聞、「フロントランナー」はシリル・ヴィニユロン氏（カルティエ・インターナショナルプレジデント兼CEO）。

彼は一度グループ外に出て、カルティエの強みについて深く考える機会があった。「一番大切なのは独自の価値を際立たせること」。戻ってからそれに専念した。

ブランドを若返らせるために若者に合わせたもの作りをするのは違う。カルティエのように時代を超越するブランドで重要なのは、同じ作品を出し続けること。もちろん全く同じではない。若い人にも気に入られる要素を入れながらも、伝統を大事にしてご両親や祖父母と同じプロダクトを引き継いでもらえることを両立する必要がある。

持続可能性が重視される現代、無料修理サービスを実施、2万本の新品を売り、ほぼ同数の以前販売した時計を修理。修理した時計を母親たちが娘さんに譲り、若い人の時計と認識された。

「変わってはいけないもの」、「変わらなければならないもの」の両面がある。



一口メモ  
知識

## 万物資(と)りて生ず

至れるかな坤元（こんげん）、万物資（と）りて生ず。

「坤（こん）は天地の「地」、陰陽では「陰」を表す。

「天の気」である太陽の光、雨が地上に至るところに降り注ぎ、大地はそれを受け取って形あるありとあらゆるもの、万物を育成する。陰の徳は限りない受容と包容力である。

順（したが）い、

受容して育成する、女性、母、妻、臣下の徳は陰徳である。

ちなみに化粧品メーカーの資生堂は、この「資（と）りて生ず」から社名をとっている。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

